

市民貢献人会報

苫小牧市後見支援員等連絡会 発行人:村上尚保 ☎38-7291

63 人目

箱崎 和枝氏 市民後見人受任



福祉の仕事をしていると後見人制度を利用している方と接する機会も多く制度の必要性を感じていました。社会福祉を勉強していた時にご縁があって市民後見人講座の受講をすることが出来ました。後見人養成講座は毎回レジェンドの講師の方々のお話がとっても楽しくあっという間に時間が過ぎていました。福祉の仕事をしていると2年ほど前から後見支援員として被補助人の方を毎月訪問しています。お話をしていく中で自分が後見支援員としてどう支援したら、その人らしく日常を過ごしていけるのか？を考える機会になりました。市民後見人として被補助人の何気ない日常がながく続くように寄り添っていけたらと、考えています。

これからも権利擁護の視点を大事にしていきたいと思います。

64 人目

蛇池 悦子氏 市民後見人受任



仕事の中で成年後見制度について触れる機会も多く、制度について学んでみたいと考えるようになり市民後見人養成講座を受講しました。

受講した当初は「自分には難しいかな」という気持ちが正直なところでしたが、日々の仕事の中で後見人不足などの話を耳にしていたこともあり「自分にもできる範囲でやれることがあるかもしれない」と思うようになりました。

この度支援員を経て市民後見人となりましたが、今はまだ不安がいっぱいです。成年後見支援センター職員の皆さまの温かいご支援のもと周りにいる大先輩の方々に少しでも近づくことが出来るよう分からないことは一つ一つ確認をしながら被後見人の方の思いや生活に寄り添いながら支援をしていくことが出来るよう励んでいきたいと思っています。

まだまだ勉強中ではありますがどうぞよろしくお願いいたします。

市民後見人養成講座(厚真)終了

令和8年8月4日(火)市民後見人養成講座(厚真)の修了式が行われました。今回の市民後見人養成講座は7月7日(火)に始まり5日間の開催になりました。修了式では上川とまこまい成年後見支援センター長から各人に祝意を添えて修了証書が渡されました。今回の修了生4名は第29期生となります。平日火曜日の開催となりましたが、皆さんどの日も熱心に受講されていました。とまこまい成年後見支援センターは常に皆さまの厚い志に支えられています。今後は法人後見の後見支援員として概ね1年実務研修に移行し市民後見人として個人受任を目指すことになります。皆さんのご健勝をご祈念申し上げます。



市民後見人養成講座を受講して 畑田正宏氏

私は市民後見人の活動やその重要性について知識を得たいと思い、厚真町で開催された「市民後見人養成講座」に参加しました。受講前幅広い分野で構成されたプログラムやテキストの厚さを目にした際には全日程を全うできるかどうか不安になりましたが、弁護士をはじめとしたプロフェッショナルな講師の皆さんにポイントを絞って分かりやすく解説していただいたおかげで各講義とも理解を深めることができました。また施設を訪問しての実習や参加者同士で意見交換する演習も随所に盛り込まれ、終わってみると全6日間の日程が短く感じるほど充実した講座となりました。

講義の中で印象に残ったことの一つは「障がい」の認識についてです。障がいとは個人機能の問題ではなくその人らしく生きるうえで社会との間に支障が生じている状況であること、そしてこれは社会の側から取り除く姿勢が基本であることを学びました。また誰もがその人らしく生きるために自身の意思に基づいて決定できること、その自己決定を最大限支援することも重要であると学習しました。

考えてみると身体や環境の変化はいつ誰にでも起こりうることで決して他人事ではありません。ましてや家族や人間関係が多様化する現代では、これを社会全体で支えあうことがとても重要です。そのような中で身上保護や財産管理を行う市民後見人は今後ますます不可欠な存在となり、その活動を支える体制やネットワークは必須であると感じました。私自身今回の講座を通して後見人について理解を深めることもとより、人と人が支えあうことを一から見つめ直す貴重な機会となりました。迷ったものの思い切って受講してよかったと思っています。

最後になりますがご指導いただいた講師の皆様、講座を主催された苫小牧市社会福祉協議会・とまこまい成年後見支援センターの皆様、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。